

病院を受診された患者さまへ（第 1.0 版）

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	琉球大学病院救命救急センターにおける経腸栄養プロトコル導入と有効性の検証（後ろ向き観察研究）(24-2507-00-00-00)
当院の研究責任者 (所属)	益崎 裕章 所属：琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座
本研究の 目的および意義	琉球大学病院救命救急センターにおいて経腸栄養プロトコルを導入したことによる経腸栄養の開始日や投与栄養量への影響を明らかにすることを目的とした研究であり、琉球大学病院救命救急センターにおける経腸栄養プロトコル導入の有効性を示すことができれば、早期経腸栄養について栄養管理体制が標準化され、患者の重症化予防・早期回復につながることを期待できる。
研究実施期間	許可日～2026年3月31日
調査データ(該当期間)	2023年4月～2025年7月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2023年4月から2025年7月までに琉球大学病院に入院した患者のうち、救命救急センター入室後に経管栄養から栄養管理を開始した18歳以上の患者さま</p> <p>●利用する試料・情報 基本情報：年齢、性別、生年月、救命救急センター在室日数 身体計測：身長、体重、BMI 血液検査：アルブミン値、血小板数、クレアチニン値、Hb、CRP、T-Bil 疾患情報：診断名、SOFAスコア 栄養管理情報（入室後1、3、5、7日目の情報）：救命救急センター入室から経管栄養開始までの日数、投与エネルギー、エネルギー充足率、投与たんぱく質、たんぱく質充足率 有害事象：下痢（泥状便または水様便3回/日以上）の有無、下痢発生日数（入室後7日間で下痢を生じた日数）、嘔吐の有無、胃内残量（$\geq 250\text{ml}$）の有無</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他機関への試料/情報の提供は行いません
試料・情報の二次利用	本研究で取得した情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性がある。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し研究機関の長の許可を得る。
個人情報の取り扱い	本研究で取り扱う患者さまの基本情報、身体計測、血液検査データは、個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します(情報の匿名化)。患者さんの個人情報と、匿名化した基本情報、身体計測、血液検査データを結びつける情報(連結情報)は、厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し破棄します。なお、連結情報は当施設内のみで管理し、ほかの機関には一切公開いたしません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究において使用する研究費はございません。本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	琉球大学病院 栄養管理部 電話：098-894-1301 (内線 1672) 担当者：酒井雄士
備考	